

## 2月議会一般質問で わしの議員初登壇！

『15の春を泣かせない』  
どの子も希望する高校へ

愛知県の高校進学率は93.2%で全国平均は96.6%で大きく開きがあり、19年連続で全国最低です。全日制への進学希望率が93.9%でありながら、計画進学率が93%に抑えられています。一方で通信制高校生が4.9%、進学も就職もしない無業者が1.04%と全国最多です。

わしの議員は、「公立高校の定数を進学希望率に見合うよう増やすことが必要ではないか？」「家庭の経済事情によって左右されることなく安心して学べるよう私学への助成を増やすことを求めるがいかがか？」「県独自の施策として給付制奨学金のさらなる充実が必要ではないか？」を尋ね、どの子も安心して全日制の高校で学べるよう、計画進学率をやめるよう知事の決断を求めました。また、「体育館の吊天井改修工事で体育館が使えない期間の代替施設を借りる費用について、なぜ県の教育予算からの補てんがないのか？」とただしました。

当局からは「進学率の実績は90%程度で93%は妥当」「奨学金は毎年増額している。今後も制度の充実を国に働きかけていく」「体育館の代替施設については、部活動は今までPTAで校外の施設を借りているので今までと変わりない」など、エアコンの設置も「検討する」というだけの冷たい他人事のような答弁に終始しました。

### 安心して学べる特別支援学校に

わしの議員は春日台特別支援学校、いなざわ特別支援学校に視察に行き、実際に見てきたこと、聞いてきたことをパネルにして提示しました。

マンモス化、老朽化が問題です。児童生徒の増加で教室が全く足りておらず、新設校でも初年度から教室不足となっている状況であり、教育予算の増額の必要性を述べながら「早急に抜本的な対策が求められているのではないか？」「遠距離通学の解消のため、小規模の学校を身近なところに作る考えはいかがか？」と質問しました。

当局も教室不足は喫緊の課題と認識しており、増設の計画を立て進めしていくとの答弁でした。



食堂を仕切り、教室にしている様子  
を示すパネルを掲げるわしの議員

### 名古屋空港をF35整備拠点にしないで

国会でのやり取りの中で本村伸子衆議院議員の質問に対する中谷大臣が「重整備拠点設置について、愛知県にはご理解を得たものである」と答弁したことについて、県の見解を求めました。

県の答弁は「『今後決定をし次第説明をする』という防衛省の回答を理解した、という意味であり、未だ回答はなく詳細を求めていた」とのことでした。「整備拠点」に県が理解したわけではないことには少し安心しました。軍事専用をならないよう「県営名古屋空港」として残した経緯を踏まえ、周辺自治体の要望に沿って対処すべきとの質問に対して「開港の経緯をふまえ安心安全につとめていく」との答弁がありました。あくまで県民の立場に立って対処することを求めました。

### 再質問では…

特別支援学校については、本村議員が国会でも質問をしており、馳文科大臣の「愛知の特別支援学校はひどい。

大村知事に文句を言いたい。愛知県が財政が厳しいとは言えない。今度視察をしたい」と答弁したことを引用した場面では議場にざわめきが起きました。(大村知事は苦虫を噛み潰したような顔)



自席で再質問するわしの議員

計画進学率をなくすこと、F35戦闘機の整備拠点化を許さないことを強く要望し、質問を終えました。

### 傍聴に来ていただきありがとうございます ご意見を紹介します

「県立高校のぼろぼろは本当にひどい」「当局からは具体的な答弁はなく、『検討する』というだけ。やる気がないのでは」「F35の整備拠点になつたら緊急の対応が増え、結局労働者へのしわ寄せとなる」「答弁に心がない。PTAにやらせて平気はおかしい」「県民に知らされていなかつたことがどんどん明らかになってうれしい」 昭天緑地区委員会からはFAXで「わしのさんらしい素晴らしい質問。当局の改善する気のない答弁には怒りも覚えた」本当に励されます。これからも県民の声を届けていきます。